

令和4年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	18	議席 番号	4	氏名	辻 村 岳 瑠 議 員	1 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				市役所7階食堂を活用した「(仮称)福祉的就労食堂ふじさん」について	<p>7階食堂を活用した、福祉的就労食堂(以下福祉食堂)の設置を提案する。庁舎内販売の草分け的存在が宮カフェであり、富士市をはじめ他市も富士宮モデルとして展開されている。これをさらに進化進展させ、障がい者、若年性認知症の方の就労の場として、また子ども食堂や認知症カフェ等の要素も含め、フードバレー構想、地産地消などの場にも活用していく考えはいかがか。さらに、今後、7階食堂スペースでは、マイナンバーカードの交付のために一部活用を予定しているようだが、スペースに残りはある。キャッシュレス決済でマイナポイントを利用できる食堂であれば、相乗効果で交付率の向上も期待できると考える。福祉的就労施設の庁舎内販売の草分け的存在の当市が、さらなるノーマライゼーションを实践する福祉食堂を設置することについて以下伺う。</p> <p>(1) 7階食堂の所管はどこか。また他市町の庁舎内の食堂経営状況を伺う。</p> <p>(2) これまで市では、7階食堂について「早くて・安くて・おいしい」食堂を望まれているように思えるが、その考えに変わりはないか。</p> <p>(3) 7階食堂を活用した福祉食堂の設置を提案する。宮カフェを進化発展させ、就業者の自立に結び付けるとともに、マイナポイントやデジタル通貨などにも対応するキャッシュレス決済を取り入れることで、利用者之恩恵があり、かつデジタル化の発展に寄与するような、夢のある福祉食堂の設置を提案するがいかがか。</p>	市長 副市長 関係部長
2				富士宮の農業活性化のためのみどりの食料システム戦略	<p>持続可能な食料システムの構築に向け策定された「みどりの食料システム戦略」が令和3年5月に農林水産省から示された。未来の食生活を守る戦略が示されたことによる市の考えを伺う。</p> <p>(1) 「高齢化や担い手不足による耕作放棄地の増加」という言葉をよく耳にする。富士宮市の第1次産業の就業者数及び平均年齢を伺う。また、耕作放棄地面積の30年前からの推移と30年後までの推計を伺う。</p> <p>(2) 富士宮市内には、いわゆる定年帰農する方が多く、現在、市内の農地は、このような個人営農の方々を守られていると個人的に感じている。このような方々の多くは団塊の世代と呼ばれる、現在70歳を超える方々で、28年後の2050年には100歳を迎える。少子化などによる人口減少も勘案すると、今後、更に急激に耕作放棄地面積が増加することが想定されるが、これに対する市の具体的施策はあるか伺う。</p> <p>(3) 耕作地への有害鳥獣対策のための電柵設置の補助のように、重労働を支えるアシストスーツの導入や牛の見守りシステムの導入による酪農の労働環境の改善に対する補助のほか、スマートフォンによる水田の水管理システムなど、未来型農業施策に対して積極的な推進を提案するがいかがか。</p>	市長 副市長 関係部長

発言 順序	18	議席 番号	4	氏名	辻村岳瑠 議員	2/2
発言項目				要 旨		答弁者
3	富士宮まつり、富士宮囃子を未来につなげていくための社会課題解決能力について			<p>祭りは地域の伝統文化として存続させるべきであるが、時代の潮流はそれを簡単なことにはしてくれない。少子化に加え市街地のドーナツ化現象により、お祭りを伝承していくことに課題を抱えている祭りも少なくはなく、富士宮まつりも例外ではない。そこで、祭りが持つ「社会課題解決能力」に着目し、市が役割を持たせることで、富士宮まつりが連綿として絶えることなく伝承されると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮まつりを有効に活用するための「社会課題解決能力」について、市が関わりを持てる要素はあるのか。</p> <p>(2) 小中学校の音楽の授業の一環で、富士宮囃子に関する授業はできるのか。学校の音楽授業としての社会授業により、未来に繋がる富士宮囃子になると考える。</p> <p>(3) 富士宮まつり及び富士宮囃子を未来に伝承していくために、現在、全125区に対して20区が主体となっている富士宮まつりを、富士宮市全体の祭りにすることについて、市が区長会などに働きかけることはできないか。人と人との交流という価値は、伝統文化を伝承していく価値と等しいと考えるが、市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長